



住友林業のリフォームが選ばれる理由

住友林業グループ とは？

「木」を活かし、多様化するライフスタイルを
幅広いサービスでサポート。

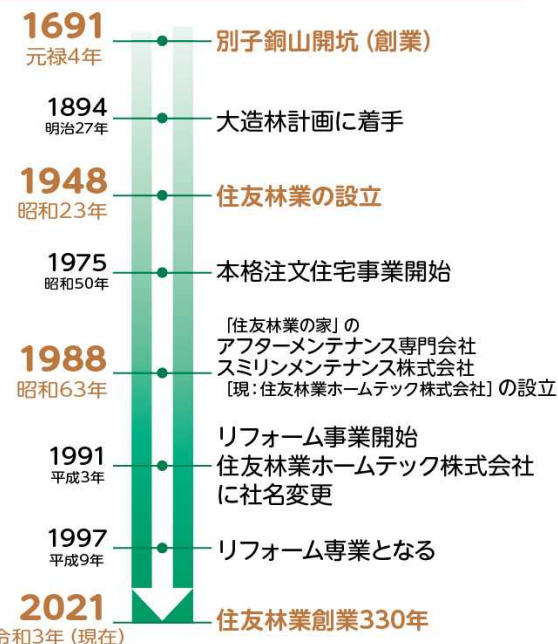
住友林業の総合力



木とともに歩んで330余年



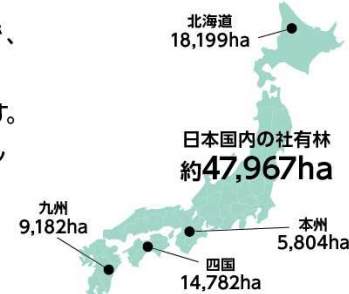
1691年(元禄4年) 住友家の別子銅山開坑により銅山備林から始まり、森と木を育て自然と共生してきたその歴史は、今日に至るまで引き継がれています。



国内有数の大規模森林を所有

北海道、本州、四国、九州の4カ所で、
47,967ヘクタールにも及ぶ社有林を保有。
これは日本国土の約800分の1に相当します。
木を熟知したプロフェッショナルであるグループの総合力の源でもあります。

※2020年3月現在



住友林業の リフォームとは？

自然素材ならではの「あたたかさ」と「新たな価値」を 吹き込む木のリフォーム。

「木」の機能性や表現力を知り尽くしたプロフェッショナル。だからこそ実現できるリフォームをご提案いたします。

黄金の木 マホガニー

黄金のように輝く光沢と濃淡のある美しい杣目(もくめ)が、住まいを高級感あふれる上質な空間へと昇華させます。



森の至宝 ウォルナット(クルミ)

森が育む至宝とも言える美しい杣目(もくめ)と深い色あい。住まいを深みのある美しさで彩ります。



木の宝石 チーク

重厚感がありながら、しっとりとした光沢が優美な趣を醸し出し、気品に満ちた雰囲気的空間をつつみこみます。



華麗なる木 チェリー(サクラ)

なめらかな木肌と淡い赤みのある色あいが華やかな表情を生み出し、上質感あふれる趣を住まいに漂わせます。



木の真珠 メイプル(カエデ)

“木の真珠”と称されるほどなめらかで白い木肌は絹のような光沢があります。住まいを明るい雰囲気演出します。



森の王 オーク(ナラ)

威風堂々とした樹形からヨーロッパでは“森の王”と呼ばれるオーク。木質感豊かな風合いが住まいに風格を醸し出します。



住友林業の リフォームとは？

より良い暮らしを空間提案する。

リフォームエンジニアによる空間提案

お客様の思いを反映した具体的プランをご提案します。



耐震や断熱などお住まいの基本性能を向上させるリフォームまで幅広く対応。

梁や柱をインテリアとして活用した吹抜けの大空間や、スタイリッシュなダイニング・カウンターなど、自在な空間提案が可能です。

戸建て リフォーム

木造をはじめ、
鉄骨、RC造まで。



マンション リフォーム

マンションの中にも
木の家を®。



旧家 再生

匠の技と家族の
歴史をつなぐ。



商業施設 リニューアル

医院・店舗から
宿泊施設まで。



+αの提案

耐震・制震リフォーム

当社オリジナル技術「耐震・制震ダブル工法」により、強い揺れに耐え、中規模の揺れを軽減する住まいをつくります。



断熱・省エネ 太陽光・蓄電・減災 リフォーム

快適で安心なお住まいへのリフォームを提案いたします。



二世帯リフォーム

二世帯の暮らしにおいて発生するプライバシーや音の問題・生活時間のずれなどの心配事をリフォームで解決します。



バリアフリーリフォーム

段差を無くしてつまづきを防止するなど、バリアフリーに配慮した安全設計のご提案もいたします。



中古住宅のリフォーム

中古物件購入の検討と共にリフォーム計画のご提案も可能です。



住友林業の リフォームとは？

「見て、聞いて、触って」体験！！

お近くのご相談窓口

全国 **69** 拠点

※2021年4月現在
(駐在除く)

住友林業ホームテックは 全国に約69拠点！！

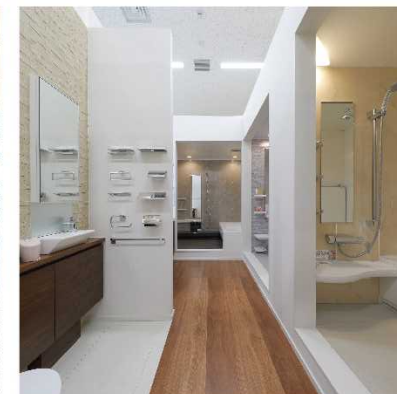
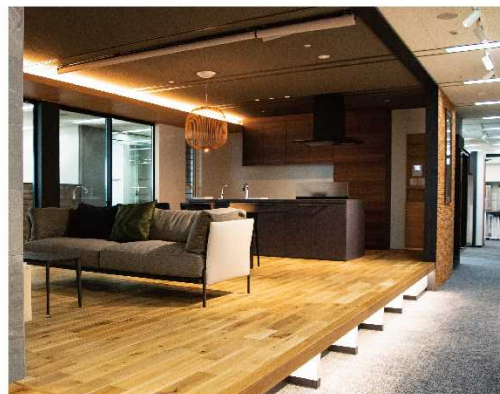
さらに、住友林業の住宅展示場は約300カ所。またオリジナル木質部材や最新設備を実際に見て触れてご体感いただけるショールームも全国に多数ございます。

〈遠方のリフォーム工事もお相談ください〉

ご実家など、打ち合わせ場所とリフォーム工事の場所が離れていても、充実のネットワークで対応可能です。

※但し、一部対応出来ない地域もございます。

ショールーム



住友林業 住宅展示場



現場見学会

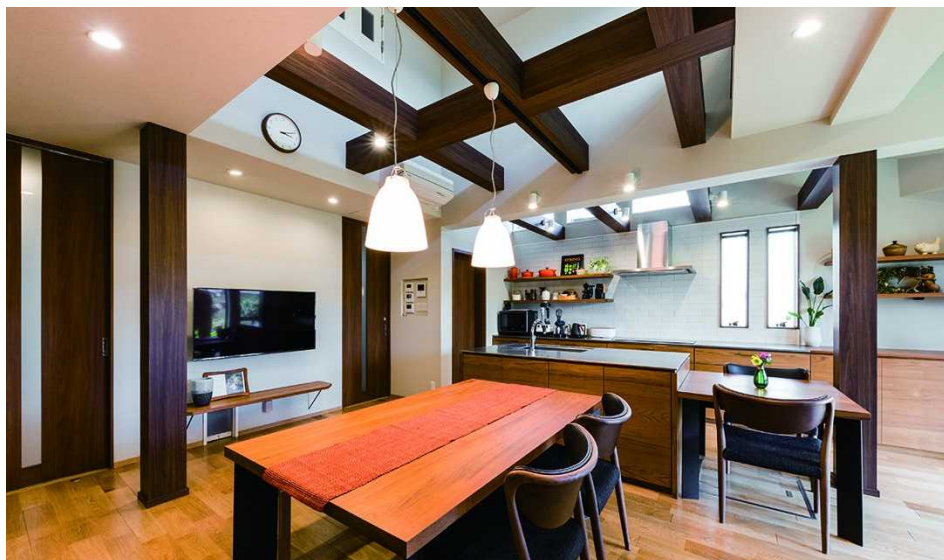


住友林業のリフォーム 戸建て実例

木造をはじめ、鉄骨、RC造まで。

住友林業のリフォームでは、住まいを「住み継ぐ」ためには、単に見た目の美しさを向上するだけではなく、地震などの災害から大切な命や財産を守るため、住まいの见えないところから「リフォーム」することが何より大切だと考えています。

「住まいの記憶」や「家族の歴史」を受け継いでいくためのお手伝いをさせていただきます。



After

明るい光を楽しむ開放的な住まい

北側で暗かったキッチンや居住スペースを南側に移し、明るい空間を実現。天井を抜き、採光が楽しめるダイニング。和モダンに北欧風テイストを加えて落ち着いた雰囲気になりました。

Before



Before

庭を楽しむ大空間

以前の間取りは南側に和室があり、庭への視界が一部閉ざされていました。リフォームではこの和室を移動し、リビング・ダイニング・キッチン・和室まで連続性のある、どこからでも庭を眺められる大空間を実現しました。

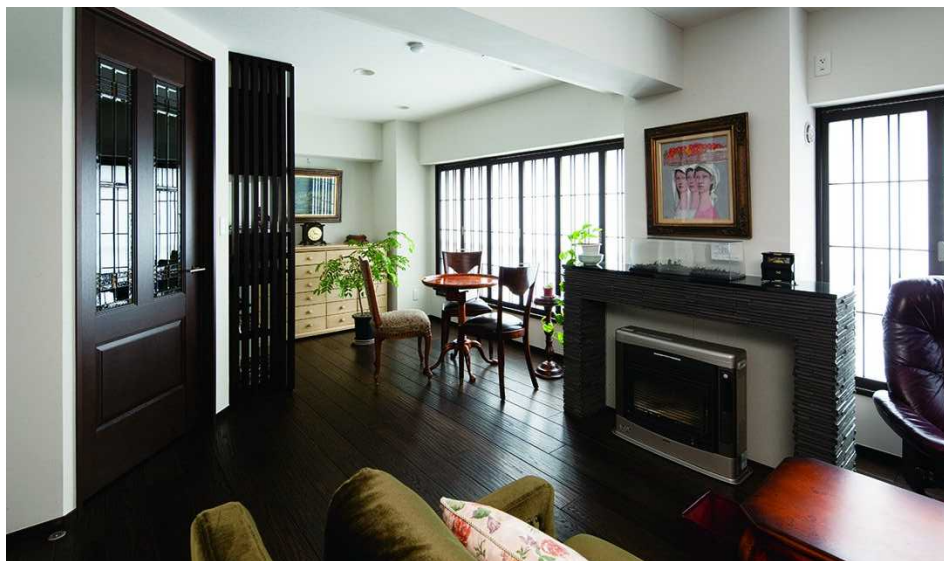
After



住友林業のリフォーム マンション実例

マンションの中にも木の家を[®]。

マンションリフォームには、空間の広さや窓の大きさなど構造上の制約が多くあります。しかし、制約があるからこそ、短所を長所に変える新しい知恵や発想が生まれます。理想の空間を実現するために、設備、収納、素材、家具、照明など、上質な空間を彩る要素をバランスをとりながら、細かい作り込みや、納まりの美しさを追求していきます。



After

旧家の品格を漂わせる マンションリフォーム

築25年のマンションを設備の老朽化を機にフルリフォーム。使い勝手のよい間取りへの変更に合わせて「木」と「和」のテイストのあふれるインテリアも特長的です。

障子風の窓、壁は自然素材の塗り壁とするなど旧家さながらの品格あるマンションに生まれ変わりました。

Before



Before

木の家をマンションに再現

築10年でリフォームしたきっかけは、当社手がけたお母様宅の無垢床材の空間の心地よさに感動したことでした。

収納場所が複数に分かれ不便を感じていた空間も間取りを変更し、使い勝手の良いゆとりある空間を実現しました。

After



住友林業のリフォーム 旧家実例

匠の技と家族の歴史をつなぐ。

先祖代々住み継がれてきた旧家ならではの「木の重厚感」や「家族の歴史」を活かしながら、現代の暮らしに合った機能や設備を取り入れて次世代に受け継ぐためのリフォームは、木を知り尽くした住友林業グループだからできる技です。



After

築100年、 奥様のご実家を二世帯リフォーム

施主様は、定年退職を迎えるにあたり、ひとり暮らしのお義母さまとの同居を決断しリフォームを実施されました。古い梁や柱、土間といった旧家らしさを活かしつつ、現代生活にあった間取りと動線、そして段差が少ないあたたかく快適な住まいを実現しました。

Before

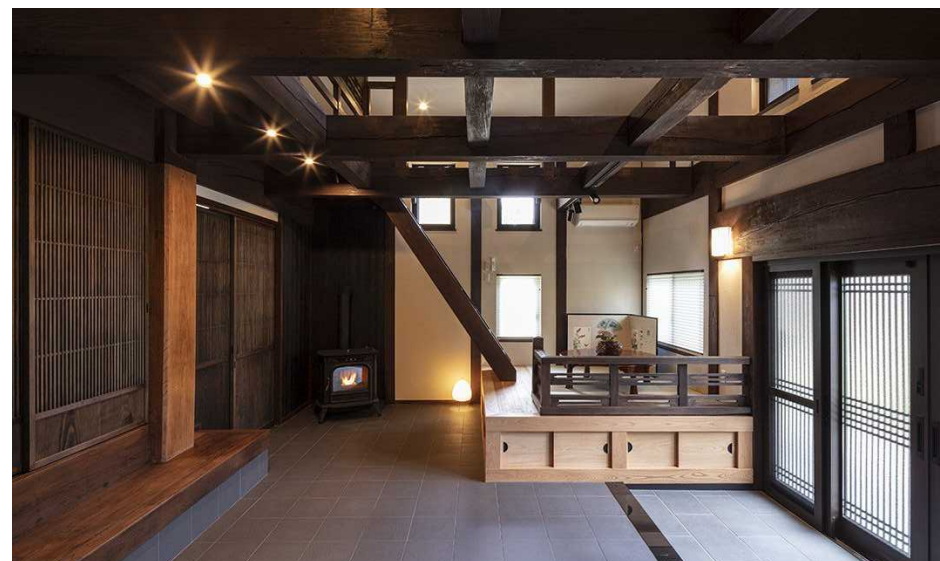


Before

築160年、 家の価値を家族ですっと守りたい

これまでも改装を重ねられてきましたが、この先の100年を見据えた大リフォームを実施されました。施主様の四代前に上質な材料を準備された歴史のあるお住まい。建築当初の間取りに戻しながら四世代のご家族が、安全・快適にくつろげる空間になりました。

After



住友林業のリフォーム 商業施設実例

医院、店舗から宿泊施設まで。

施設のリニューアルに求められるのは、ご依頼いただく企業やオーナーの事業をより発展させ、費用対効果に見合う建物に生まれ変わらせることです。私たちは、お客様の事業成長を実現しうる設計提案と、ご予算・ご要望に見合う資材等の調達、利用される方の安全と快適性を確保する各種工事、さらに工事期間中の営業への影響を最小限に抑える現場管理能力をご提供します。

医院

テナントビル内の医院を全面リニューアル

Dテナントビル内の開業12年の医院を全面リニューアルし、清潔で落ち着いた雰囲気イメージチェンジしました。特に待合室は照明や床材に配慮して、高齢の患者様にも心地よく過ごしていただけるように変更しました。

Before



After



旅館



After



Before

温かさと、非日常を感じるモダンな温泉へ

浴室はもとより、施設全体をリニューアルしました。共用スペースでは、既存の囲炉裏テーブルを活用したくつろぎ空間や、暖炉を模したテーブルを設置するなど、ゆったりとした時間の流れを目と肌で感じていただける空間を創出しています。

寺院

世界遺産「仁和寺」境内の宿坊

築80年の伝統や趣はそのままに、耐震やバリアフリー性を高め、海外からのゲストをお迎えする宿坊に生まれ変わりました。

Before



After



耐震基準の変遷

旧耐震基準から新耐震基準へ

大規模地震

1978年
宮城県沖地震
最大震度5/M7.4
多くの住宅の被害発生



1995年
阪神・淡路大震災
(兵庫県南部地震)
最大震度7/M7.3
818gal
1981年以前の旧耐震基準で大きな住宅被害



耐震基準改訂（現行基準）から2020年（現在）

2004年
新潟県中越地震
最大震度7/M6.8
1,675gal



2011年
東日本大震災
(東北地方太平洋沖地震)
最大震度7/M9.0
2,699gal
繰り返しの地震による被害が問題に



2016年
熊本地震
最大震度7/M7.3
1,740gal
全震・本震の連続で2000年基準の住宅も倒壊



gal (ガル) : 地震の揺れの大きさを表す加速度の単位。
1gal=1cm/sec²

一般在来工法の変遷

1950年 旧耐震基準

■ 建築基準法制定

1981年 新耐震基準

■ 改正のポイント
◎ 必要な壁の量が大幅に増加
◎ 壁倍率の数値が改訂

2000年 新耐震設計基準の改正

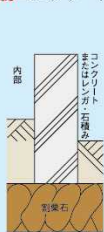
■ 改正のポイント
◎ 耐力壁のバランス強化
◎ 柱の引き抜き対策強化

2020年※

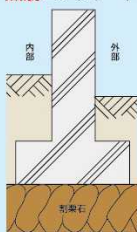
※建築物の新耐震基準化率
「目標95%」
「住生活基本計画（全国計画）」
(2011年3月15日閣議決定)

基礎の変遷

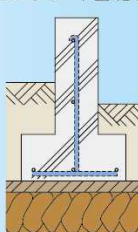
1960年
底盤無し
無筋コンクリート基礎



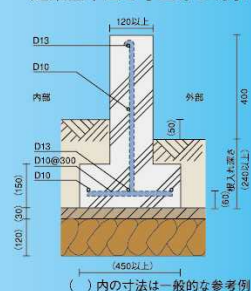
1962年
底盤付き
無筋コンクリート基礎



1982年
鉄骨入り
コンクリート基礎が登場



2000年
建築基準法で寸法等を明示



あなたのお住まいは、
いつ建てられましたか？

あなたのお住まいは大丈夫？

我が家の耐震チェック 6項目

地震大国ニッポン。将来起こりうる大地震に備えてあなたのお住まいは大丈夫ですか。耐震性をチェックしてみましょう。ひとつでも「はい」があった場合は耐震診断をお勧めします。

Check 1 建てたのが
1981年以前である。

☐ はい ☐ いいえ



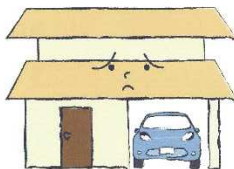
Check 2 シロアリが
発生している。

☐ はい ☐ いいえ



Check 3 1階に車庫があり
柱や壁が少ない。

☐ はい ☐ いいえ



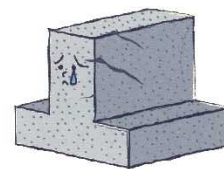
Check 4 増築を2回以上
行っている。

☐ はい ☐ いいえ



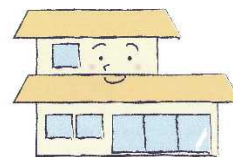
Check 5 基礎に
ひびが入っている。

☐ はい ☐ いいえ



Check 6 1階に大きな窓が
たくさんある。

☐ はい ☐ いいえ



耐震診断の流れ

耐震診断のご相談

お住まいの
設計図面

建築当時の図面を
ご用意ください。



設計図面をお持ちでない場合
でも、お住まいの採寸からおこな
いますので、ご安心ください。

建物の状況によって手順が変わることがあります。

※鉄骨造 (S造)、鉄筋コンクリート造 (RC造)、3階建てのお住まいは別途相談。

現場確認



簡易
耐震診断



お申込み



建物調査
非破壊検査、目視で点検。



建物調査を基に「耐震診断」



耐震を考えたプラン提案



プラン決定・お見積り作成



ご契約



耐震診断の内容

現場確認

お住まいに伺い、お手元の設計図面と現在の間取りが同じかを確認します。



設計図面をお持ちでない場合でも、お住まいの採寸からおこないますので、ご安心ください。

建物調査

お住まいの耐震性や劣化状況を調査をします。



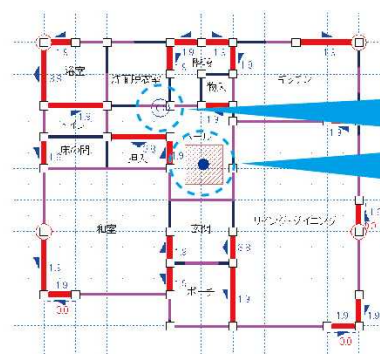
基礎に鉄骨筋が入っているか調査



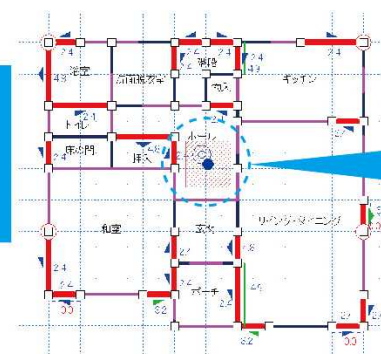
基礎の状態やシロアリ被害の有無などを調査

耐震診断

建物調査をもとに、専用の耐震診断ソフトを使って診断します。



補強前



補強後

建物の重心と剛心が離れていると要注意。家の強さのバランスが悪いということです。

バランスが良い建物にする。



構造評点ごとの耐震判定

「耐震診断でわかること」

耐震診断では、その建物がどの程度地震に耐えられるかという指標を「構造評点」という数値で表します。



評点 0.7未満
判定 倒壊する可能性が高い



評点 0.7～1.0未満
判定 倒壊する可能性がある



評点 1.0～1.5未満
判定 一応倒壊しない



評点 1.5以上
判定 倒壊しない

耐震診断の結果をもとに、耐震工事によって構造評点をいくつまで上げたいのか目標値を設定します。耐震改修前の評点との差と、住宅の延べ床面積、それに日本建築防災協会が設定した単位費用を使用して、耐震工事のお見積りを作成します。

住友林業のリフォーム
耐震・制震

いのち
万が一の大地震に備え、生命とお住まいを守る。

いのち
震災からお客様の生命とお住まいを守る、耐震・制震リフォーム技術
オリジナルリフォーム技術 **<32件特許取得>** ※2021年4月現在

特殊金物付耐力パネル

耐力壁でありながら、地震エネルギーを吸収する性能を持つ。

耐震性（強度）と制震性（減衰）を実現します。施工の際にも、床や天井を大がかりにはがさずに壁面に設置できるので工期も短くなります。



門型フレーム耐力壁

大開口大空間と強度を同時に実現。

シングル筋かいがあるのと同様の強度を確保。壁を取って部屋を広げることができます。



スミリンARC (アーク) 工法

無筋コンクリートの強度をアップ。

無筋コンクリート基礎表面に帯鋼とアラミド繊維シートをエポキシ樹脂接着剤で装着するだけで、鉄筋コンクリート基礎と同等以上の強度を確保する工法です。



オリジナル

耐震×制震ダブル工法

従来からの耐熱補強（上部構造評点1.0以上）と合わせて、制震ダンパーS型を設置するオリジナルシステムです。  GOOD DESIGN AWARD 2013

大地震の強い揺れに耐えて、崩壊を防ぐ

スミリンARC (アーク) 工法
耐震技術

耐震×制震
ダブル工法

スミリンCEM (セム) 工法
制震技術

大地震に耐え、余震の揺れを軽減し二次災害を防ぐ。

建物の損傷を防ぎ家族や財産を守る！

耐えて、制する。住友林業のリフォーム【二重の安心】

1. 大地震の揺れに耐える
2. 建物の損傷を軽減する
3. 揺れを制し、二次災害を防ぐ
4. 制震装置のコストを軽減
5. 各行政の耐震改修助金を受けられることも



制震ダンパーS型

スミリン CEM工法の「制震技術」は東日本大震災で優れた威力を発揮しました。



宮城県T様邸 地震後撮影

お客様の言葉

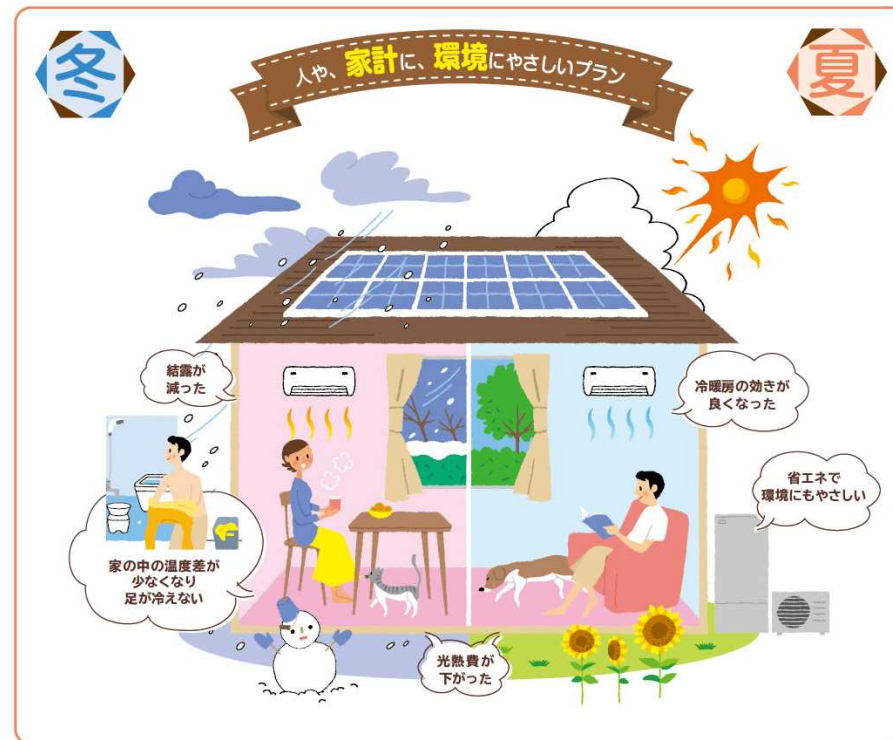
「本震時はほとんど建物に損傷がなく、しばらく近隣の避難所代わりになっていた。」

地震後の調査で1階にクロス割れや和室塗り壁の軽微な損傷のみが見られました。

東日本大震災 震度7

2011年3月11日以前にスミリンCEM工法で補強したお客様のお住まいを地震後に調査しました。

寒暖差の大きい日本で健康に暮らしていくには。



冬の危険 ヒートショックの危険

例えば、冬場の入浴時、寒い脱衣室では血圧が急上昇し、湯船につかると一転降下。ヒートショックを起こして意識が朦朧となる危険性があります。



夏の危険 家の中で起こる熱中症の危険

東京都の調査によると、65歳以上の熱中症発症者の多くが、住宅内で発症しています。住宅の断熱性能が低いこと、冷房を適切に使用しないことも要因のひとつと考えられます。



家計にやさしい

断熱性能を高めて
光熱費を削減

断熱レベルを上げること
で、冷暖房のエネルギー消費
量は大幅にダウン。家計
にも、環境にもやさしい生活
を実現できます。

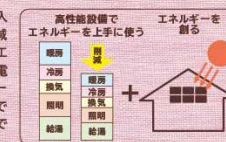
出典：国土交通省「断熱性能向上に向けた
住まいと住まいの環境改善事業」
※一定の仮定において国土交通省にて
試算



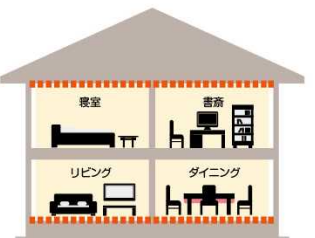
環境にやさしい

さらに
省エネ・創エネ設備で
環境負荷を軽減

さらに、省エネ設備を導入
してエネルギー消費量を減
らし、太陽光発電などでエ
ネルギーを生み出せば、電
力会社等からのエネルギー
購入量を減らすことがで
き、環境負荷をより軽減で
きます。



断熱リフォームの種類

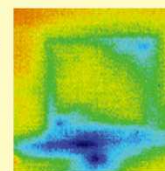
	パターンⅠ 全体リフォーム	パターンⅡ 階別リフォーム	パターンⅢ 部屋別リフォーム	パターンⅣ 部位別リフォーム
断熱箇所	家全体をまるごと断熱  ●窓断熱 ●床断熱 ●天井断熱 ●壁断熱	生活の中心を1F (2F) に、 まとめ、その階を断熱  ●窓断熱 ●床断熱 (+床暖房) ●壁断熱	浴室～洗面脱衣室 LDKなど部屋ごとに断熱  ●窓断熱 (内窓) ●床断熱	部位別に断熱  ★内窓取付 (部屋ごと) ★床下断熱潜り施工 ★小屋裏断熱潜り施工 ★屋根遮熱塗料
コスト	高い			低い
工程	長い			短い

サーモカメラによる調査

窓枠やガラスの状態、床下、天井裏、壁の断熱材の状態などを細かく調査します。

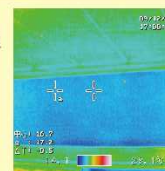
天井

点検口のまわりに断熱材がないのがわかる。



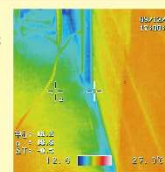
壁

外周壁に断熱材が不足しているのがわかる。



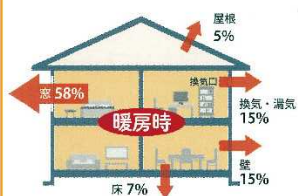
床

畳のヘリからすきま風が入っているのがわかる。



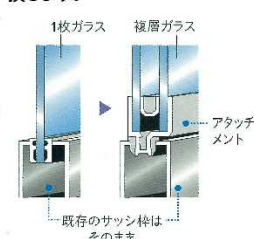
窓の断熱

冬に室内から熱が逃げる割合



出典：一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

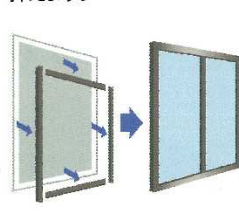
既存のサッシ枠を利用して複層ガラスなどに交換
複層ガラスや遮熱性・断熱性に優れたLow-E複層ガラスに交換します。



既存の枠はそのままに内側に窓をつけて断熱
窓まわりの冷気やすき間風を抑えます。



既存のサッシ枠を取り除き新たなサッシに交換
アルミ・樹脂複合サッシは窓全体の結露の発生を大幅に抑えます。



天井の断熱

屋根裏だけでなく、1階と2階の間の断熱も



壁の断熱

壁の下地をはがして断熱施工



床の断熱

床をはがさない断熱方法もご提案 (写真右)

キッチンの床下収納庫などから入り、床をはがさずにボード上の断熱材を貼り付ける方法などもあります。



安心して暮らすためにバリアフリー化で対策を。

危険・負担

- ☐ 段差でよくつまずく
- ☐ 階段の上り下りが
つらい
- ☐ 浴室で転びそうになった
- ☐ 床が滑りやすい



- ☐ 部屋の出入り口が狭い
- ☐ 夜、足元が暗い
- ☐ 手すりがほしくなることが増えた
- ☐ 車イスや介護が
必要になるかもしれない

1 ケガや事故を 未然に防ぐ 安全・安心の対策

高齢になると、移動の際につまずき事故を起こしやすくなり、暗い場所や浴室などでも転倒事故が発生しやすくなります。それらを未然に防ぐ安全策が必要です。



2 出入りや移動など 動線を意識し 自立を支える設計

身体が不自由になったり、車イスが必要になった場合、安全対策を施していないと、出入りや移動が困難になります。そこで事前にアプローチから玄関ホールまでの段差をなくしたり、玄関の間口を広くするなど、生活動線を意識した計画が大切です。

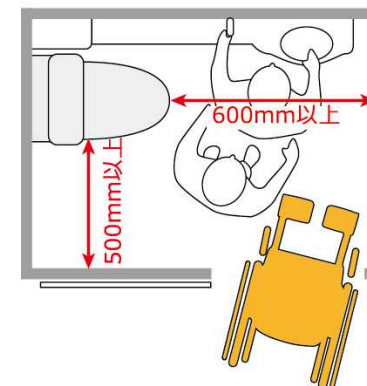
アプローチには
スロープや手摺などを設置。



3 介護する方にも 優しい家づくり

例えば、車イスの方を介護する場合、方向転換や切り返しのために広いスペースが必要になります。浴室やトイレでも、介護するためのスペースを考慮。誰にとっても優しいユニバーサルデザイン化を進めます。

便器の手前にイスを寄せ
便器の横からの介護を想定。



専任チームによる親身な対応

STEP 1

お問い合わせ

リフォーム検討にあたり出てくる不安や疑問、費用などについてリフォームエンジニアがお答えします。

STEP 2

ヒアリング 現況調査(建物診断)

お客様のご要望のヒアリングと、ご計画の建物の現況調査(建物診断)を行います。

STEP 3

プランニング お見積り

現況調査の結果とご要望をまとめ図面にします。図面やパースができあがると具体的にリフォーム後の生活がイメージしやすくなります。

STEP 4

ご契約

プランとお見積り内容が決まったらご契約となります。仮住まいや荷物保管のご相談もお忘れなく。

STEP 5

リフォーム工事着工

現場立ち会いを行った後に近隣へのご挨拶後、工事を開始します。着工後に工事担当者と共に現場確認を行い、進捗状況をご報告します。

STEP 6

リフォーム工事完了 アフターメンテナンス

工事完了検査後、お客様に工事箇所をご確認いただきます。万全のアフターメンテナンス体制で責任を持ってサポートします。

ご希望をじっくり ヒアリング



住み替えのご相談や空き家についてのお悩みも住友林業のグループ力でご対応します。

技術者が建物の 状況をしっかり把握



必要に応じて地盤の調査・分析、建物の劣化調査、耐震診断、省エネ診断を行います。

プランニングの ポイント



事前にご要望の優先順位を決めたり、ショールームで設備の機能やグレードを早めに確認していただくスムーズです。

仕様打ち合わせ



ご契約後、設備や壁紙の色柄などの打ち合わせを行います。その他、リフォーム内容に応じて各種申請手続きを始めます。

現場立ち会い



リフォームの内容に応じて、現場に立ち会っていただき、現状の確認をします。

アフターサービス



専任のアフターメンテナンス担当が定期的に巡回しリフォーム箇所について点検します。

リフォームエンジニア(建築士)

インテリア担当

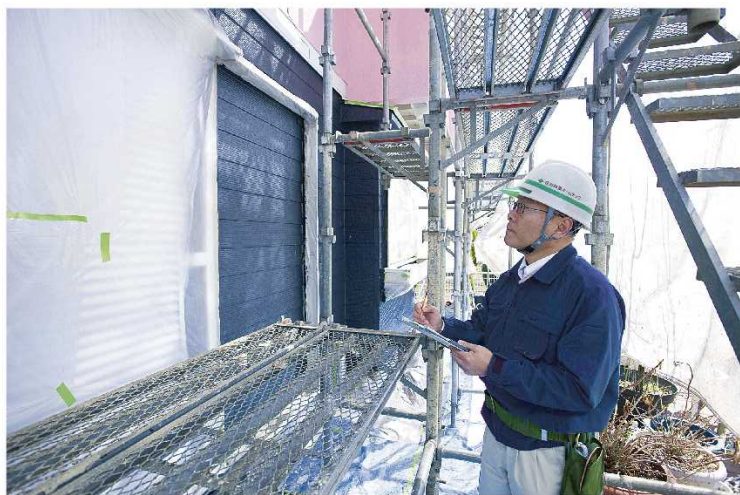
工事担当

メンテナンス担当

住まいは見えないところが肝心。 独自の管理体制と多岐にわたる品質検査。

専任の工事担当者

厳格な施工基準や蓄積されたノウハウに加えて、知識と経験で臨機応変に対応します。
工事中の近隣への配慮や完成後の取扱い説明もご安心ください。



見えない部分もしっかり対応

解体後、想定外の劣化部分が発見されても見逃しません。お住まいの安全を一番に考え対応します。

細部までわたる施工基準

当社の施工基準は、住友林業独自の厳しい基準に基づいて設けています。

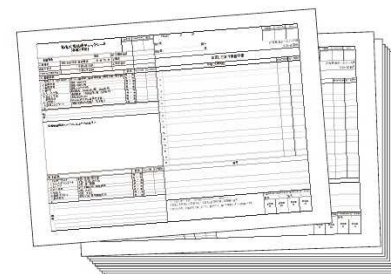
さらにリフォームエンジニア、工事担当、施工スタッフはポケット施工基準書を携帯。



厳格な品質検査

万全の管理体制に加え、
厳格な品質検査で更なる安心。

施工項目ごとに工事担当、施工スタッフがチェックし、確実な施工をします。さらに、工事規模によっては専任の検査員による検査も行います。



施工スタッフの教育

- ・ 合同の現場安全パトロール会
- ・ 定期的な勉強会
- ・ 表彰制度で高い品質の維持



安心のアフターサービス

工事の後も責任を持って見守ります。



住友林業のリフォームは、住み始めてからのアフターサービスの充実も大きな特徴です。定期巡回やメンテナンス対応など、いつまでもお客様のお家を見守ります。

安心の維持管理システム

お客様の工事内容、保守点検などの履歴をカルテに記録。この記録は、長期にわたる安心のサポートに役立てられるだけでなく、大切な住まいを価値ある資産として維持していくため、将来、お客様の資産価値を適正に評価する資料となります。

お客様がいつまでも安心して快適に暮らしていただけるよう、しっかりサポートします。

充実の保証内容

引渡しの際に工事内容に応じた保証書を発行。
スタッフによる定期巡回の実施など、安心してお住まいいただけます。

お引き渡し後のリフォーム保証とアフターサービス

当社の増改築・リフォームには、建物の種別ごとに保証制度が用意されています。
工事内容により保証の期間、内容が異なります。

保証の種類	保証書 (※1参照)	保証対象物件	保証概要	定期巡回
増築保証(10年)	13-C 13-O	10㎡以上の増床(基礎の新設を併う)の増築工事。	構造躯体、雨漏りに関して10年間の保証、防蟻保証5年、外壁、屋根の塗装部分に関して3年間の保証、その他に関しては2年間の保証。(※2)	+ 定期巡回 (※3)
増築・増改築・改築保証(5年)		(10年保証対象外の工事の)増築・増改築工事。	構造躯体、雨漏り、防蟻に関して5年間の保証、外壁、屋根の塗装部分に関して3年間の保証、その他に関しては2年間の保証。(※2)	+ 定期巡回 (※3)
改築保証		改築工事。	外壁、屋根の塗装部分に関して3年間の保証、その他に関しては2年間の保証。防水・防蟻に関しては、5年間の保証。(※2)	+ 定期巡回 (※3)
塗装・防水・防蟻保証		外壁、屋根及び内部の塗装や防水・防蟻の工事。 ※築2年までの「住友林業の家」の保証内容は、一部異なります。	外壁、屋根の塗装部分に関して3年間の保証、外壁の木部、金属部の塗装及び内部塗装などに関して2年間の保証、防水・防蟻に関しては5年間。(※2)	
マンション保証	13-M	マンション専有部の改築・改装工事。	施工部に関して2年間の保証。	+ 定期巡回 (※3)

※ 1: 100万円以上の工事は保証書の発行があります。

※ 2: 北海道地区・その他積雪地域に限り、屋根の塗装部分に関しては2年間の保証になります。

※ 3: 契約金額が1,000万円以上の工事においては、お引き渡し後、7ヶ月、2年目、5年目の定期巡回を実施。